

先進的取り組み認められ

全国水土里ネット会長賞受賞

東京砂防会館で3月24日、農業農村整備優良地区コンクール表彰式が開催され、農業生産基盤整備部門で迫井手土地改良区が受賞しました。これは、県内で唯一農業生産法人の育成に取り組んだ先進的な地区として、大規模な集積を実施し、同一作物のブロック化によるコスト削減の取り組みや、多面的機能支払交付金事業による景観作物の植栽などが認められての受賞となりました。



町長と迫井手土地改良区の皆さん

みんなの笑顔のために

人型ロボット「Pepper」が大津町へ

平成29年3月から平成32年3月までの3年間、ソフトバンク社から人型ロボット「Pepper」(ペッパー)が大津町に派遣されています。Pepperは、社会貢献プログラムの取り組みとして、仮設住宅での支援活動や町の復興イベントで被災者と交流し、皆さんの心を癒します。会話や踊りが得意なPepperとたくさん触れ合って、町に笑顔の輪を広げましょう。



Pepper社会貢献プログラムを活用し実施しています

崩落した巨石と共に

瀬田神社の社殿落成式

熊本地震で崖から崩落した巨石により全壊した瀬田神社が再建され、3月26日に落成式が行われました。

新社殿には倒壊した前社殿に使われた飾りの一部を再利用し、新しい中にも歴史を感じさせるものになっていました。社殿の横には地震当時崩落した巨石もしめ縄をつけご神体として祭ることになりました。式では神楽の奉納も行われ、煌びやかな音色が響いていました。



地震の爪あとをあえて残すことで、恐ろしさと教訓も伝える社殿となりました

おおづをもっと元気に!

おおづ元気プロジェクト

イオン大津店イベントホールで3月26日に「からいもくん体操」発表会が行われました。これは震災後、町が元気になるようにと、有志を中心に結成された「おおづ元気プロジェクト」の一環として行われたものです。体を動かして楽しくなる町の特徴を盛り込んだ音楽と体操を考案し、健康づくりの啓発のために作成され、当日はCDの無料配布もされました。



明るい音楽と親しみやすい歌詞が魅力のダンスになりました

American Post

アメリカンポスト

CIR (国際交流員) : マシュー・サイバート

MOTHER'S DAY

アメリカ人にとって、5月は終わりの月と去年言ったかと思います。なぜなら、多くの学校の年度は5月で終わるからです。私も、小、中学校、高校そして大学と5月に卒業してきました。しかし、日本のように4月に全てが新しくなるのとは違い、会社の年度は別の月に変わります。しかし、5月に学年が変わろうとも、この「祝日」のことは忘れません。それは母の日です。この日は知っての通り、幼い時から育ててくれたお母さんの、その大変な労苦に感謝し、いかに母親の存在に助けられたかを感じる日となっています。

私の母も多くの皆さんと同じです。一番に私の夢とその決断をサポートしてくれています。母無しでは(もちろん、父無しでも)、私は今ここにいません。日本について学ぶチャンスも無かったです。母から多くのことを学び、アドバイスや励ましを受けて成長してきました。

母の日は普通、お花で祝いますが、「ベッドで朝食を」のような、ちょっとオシャレな方法(最高の料理人が作るわけでは無いですが)もあります。そして日曜日なので、教会でも彼女たちをお祝いします。あるところでは、お母さんのお母さん、つまり「おばあちゃん」も一緒にお祝いしますが、アメリカでは別に祖父母のための日もありますよ。

今回、母と一緒にの写真を探しましたが、見つけれなかったのも写真撮りたいと思っています。皆さんも忘れないうちに撮るべきですよ。今年の母の日は、5月14日です。忘れないで!

Thanks for everything, Mom. I love you!



わたしたち

大津町地域おこし協力隊

です



町で活躍する大津町地域おこし協力隊の活動をレポート形式でご紹介します。今月は渡部紗代さん。

こんにちは! イベント担当の渡部です。5月といえば、胸弾むゴールデンウィークですね。今年は暦通りに休むなら5連休。まずまずといったところでしょうか。イベントに関わるようになってから、皆さんが休日をどのように過ごされるのか、興味を持つようになりました。どこに行っても何がよくてどんな美味しいものがあったのか、ぜひ休日自慢を聞かせてください。

そして以前より興味を持たざるをえないものに天候があります。先月の話になりますが、桜まつり前は毎日祈るような思いで気温



さくら祭り時点では2分咲きでした



子ども用貸し衣装コーナーは大盛況!

をチェックし蕾を眺めていましたが、残念ながら咲いてくれませんでした。おまけに当日の気温もあがらず、子どもたちに桜のトンネルの下でおめかししてもらおうと準備していた衣装も出番無しかと落ち込みました。しかし、そんな状況にも負けず多くの子どもたちが衣装を着て笑顔で喜んでくれて、逆に子どもたちに元気をもらってしまいました。次のイベントに向けてこの元気、大事に使わせてもらいます!